

学年：高校2 学年 2 学期

科目：探究未来学（富士未来学V）

対象：「論文」

研究課題 著者名等 研究概要（アブストラクト） 背景（動機） 目的 仮説 方法 結果  
 考察 結論 今後の課題 引用文献

ルーブリック（評価基準表）

育成したい資質・能力	アクティブラーニングの観点	評価の観点	評価の対象	高いレベル	実力がある	一部に課題あり	①自己	②相互	③自己	④教師
				A	B	C				
挑戦力	価値創造	主体的に学習に取り組む態度	論文全体	論文に必要な項目を網羅し、適切な分量（A 4で4ページ目の後半まで）で記述している。	論文に必要な項目を網羅しているが、分量が不十分である。	論文に必要な項目を網羅していない。				
理数的解決力	結論伝達	思考・判断・表現	研究概要	研究概要（アブストラクト）を各論の主題文と整合するように記述しており、研究の過程が分かるようになっている（論文に必要な項目を網羅している）。	研究概要（アブストラクト）を記述しているが、各論の主題文と整合していない部分があり、研究の過程が分かりづらくなっている（論文に必要な項目を網羅していない）。	研究概要（アブストラクト）を記述していない。				
理数的発見力	調査比較	思考・判断・表現	背景・目的	先行研究（学術論文、書籍、Web サイト等）を根拠にして研究の背景や仮説の設定に至るまでの理由を説明し、背景を裏付けとして研究の目的を設定している。	先行研究（学術論文、書籍、Web サイト等）の調査が不十分なまま、研究の背景や仮説の設定に至るまでの理由を説明し、背景を裏付けとして研究の目的を設定している。	研究の背景を記述していない。または、先行研究（学術論文、書籍、Web サイト等）の調査をしておらず、自分の考えを基に研究の背景を記述している。				
理数的発見力	課題判断	思考・判断・表現	研究課題・仮説・方法	調べて分かるものではない研究課題を設定している。観察や実験、調査により、検証（仮説を根拠を示しながら証明すること）が可能な、新規性がある研究課題を設定している。	調べて分かるものではない研究課題を設定している。検証が可能な新規性がある研究課題を設定しているが、観察や実験、調査が行われていない。	調べて分かる研究課題を設定している。または、テーマが大きすぎて検証が不可能な研究課題を設定している。				

理数的発見力	仮説説明	思考・判断・表現	仮説・方法	独立変数と従属変数が明らかでない仮説を設定し、仮説を科学的に検証する計画を立てている。	独立変数と従属変数が明らかでない仮説を設定しているが、仮説を科学的に検証する計画を立てていない。	仮説を設定していない。または、独立変数と従属変数が明らかでなく、科学的に検証可能な仮説を設定できていない。				
理数的解決力	計画実践	思考・判断・表現	方法	仮説を検証できる計画を立てており、観察や実験、調査が実践できている。	仮説を検証できる計画を立てているが、観察や実験、調査が十分に実践できていない。	仮説を検証できる計画を立てていない。				
理数的解決力	分析解析	思考・判断・表現	結果	観察や実験、調査により得られたデータを図や表を用いて表しており、結果を統計的な手法を用いて分析し、解析できている。	観察や実験、調査により得られたデータを図や表を用いて表しており、結果の分析に平均や割合を用いている。	観察や実験、調査を実施せず、データを収集していない。収集した資料から得られた結果をまとめている。				
理数的解決力	結論伝達	思考・判断・表現	結果・考察・結論	得られた数値を裏付けにして結果を解釈し、仮説が検証されたかどうか考察している。研究で分かったことや見いだされたこと、新規性や今後の課題等について触れながら結論を導いている。	得られた結果を解釈し、仮説が検証されたかどうか考察しているが、数値を根拠としていない。研究で分かったことや見いだされたこと、新規性や今後の課題等について触れながら結論を導いている。	考察や結論の一部を記述していない。				

他者のコメント（記入者） ※「事実」と「こうしたらもっと良くなる」の2文程度	他者評価を受けて修正した点
教員のコメント（記入者）	